

試合番号 : 429	試合会場 : E・プラザいしかわ	観客数 : 0	
開始時間 : 11:00	終了時間 : 13:04	試合時間 : 02:04	
主審 : 戸川 太輔	副審 : 内藤 聡美		
埼玉上尾メディックス	通算 12勝 8敗 ポイント : 37	NECレッドロケッツ	通算 15勝 5敗 ポイント : 46
3	24 第1セット 26 25 第2セット 22 25 第3セット 22 25 第4セット 21 第5セット	1	監督コメント まず勝利した埼玉上尾メディックスに対し、おめでとうを言わせていただきます。埼玉上尾のブロックディフェンスのクオリティが高く、私たちのオフェンスを抑えられ、自分たちでその悪い流れを最後まで切れずに行ってしまったことです。今日の試合を種に次の試合では良いバレーを見せることができるように準備していきたいと思っております。本日も応援ありがとうございます。来週はついにV・ファイナルステージになりますので、心強い熱い応援をよろしくお願ひします。
監督コメント	まずこのプレッシャーかかると、今シーズン最大のパフォーマンスを発揮してくれた選手を讃えたい。また、チームを支えるすべてのスタッフ、応援してくれるファンに感謝を申し上げます。試合内容としては、展開の速いオフェンスと、得点力のあるアウトサイドを要する相手に対して、いかにサーブで展開を進めるか、ブロックタッチやキャプテン山岸のディグを中心に確実に2本目に繋ぎオフェンスを展開できたことが勝利を導く結果となりました。今日の様なバレーが展開できる順位は他の試合の結果により変わりますが、今日の様なバレーが展開できればどのグループになってもトップを目指せると思います。V・ファイナルステージに向けて再びチーム一丸となって準備してまいります。応援よろしくお願ひします。	要約レポート	第1セット、埼玉上尾メディックスが内瀬戸のスパイクやサービスエースでリードを奪うが、NECレッドロケッツがネリマンのスパイクによる連続得点で追いつくと、終盤まで一進一退の攻防となった。最後はNECネリマン、古賀が鋭いスパイクを決め、粘る埼玉上尾を振り切り先取した。第2セット、埼玉上尾がジョゼフのスパイクで得点を重ね、少しずつリードを広げていく。対するNECは古賀のスパイクとブロックの連続得点や、ネリマンのスパイクで追い上げるが届かず、埼玉上尾が第2セットを奪い返した。第3セット序盤、勢いにのる埼玉上尾がジョゼフのスパイクや内瀬戸のブロックなどの連続得点で大きくリードを奪うと、NECにつけ入る隙を与えず、セットを連取した。第4セット、お互いに譲らず、終盤までもつれる展開となったが、終盤に埼玉上尾が吉野のブロック、内瀬戸のサービスエースで一歩抜け出すと、そのままリードを守り勝利を決めた。

試合番号 : 430	試合会場 : E・プラザいしかわ	観客数 : 0	
開始時間 : 14:05	終了時間 : 15:48	試合時間 : 01:43	
主審 : 中山 健	副審 : 増岡 三佳子		
PFUブルーキャッツ	通算 4勝 13敗 ポイント : 12	日立リヴァーレ	通算 6勝 15敗 ポイント : 15
3	25 第1セット 16 18 第2セット 25 25 第3セット 15 25 第4セット 18 第5セット	1	監督コメント 本日も画面越しに熱いご声援ありがとうございます。昨日のウィクトリーナ姫路戦で勝利し、レギュラーラウンド8位確定となったものの、今日のこの試合をこのような負け方で終えてしまったことを非常に不甲斐なく思います。来週は5~8位をかけたV・ファイナルステージとなります。今日の負けを無駄にしないよう、しっかり結果を出します。2日間ありがとうございます。
監督コメント	レギュラーラウンド最終戦、ホームで向として勝たないゲームだった。正に総力を結集した勝利だったと思う。この試合に向けて準備してきたことを選手達がいかに体現してくれた。日立リヴァーレの強さがアタッカー陣に苦しめられる時間もあったが、集力を切らさず強みを発揮して戦った。順位決定戦に向けてしっかり準備して試合に臨みたい。本日も画面越しに応援して下さい皆様、ありがとうございます。	要約レポート	レギュラーラウンド最終戦、お互いに勝利したいPFUブルーキャッツと日立リヴァーレの試合は、PFUがアコスタの活躍により勝利した。第1セット、PFUはサーブで流れを掴み、アコスタ、志摩のスパイクで確実に得点を重ね、2セットを先取した。第2セット序盤、日立が5連続得点でリードする。PFUは粘り強いレシーブでくらいつくが、日立が入澤、オクム大庭の得点でセットを取り返した。第3セット、両者譲らない展開の中、アコスタの連続スパイク、綿引、志摩の連続ブロックで一気に抜け出し、セットを奪った。第4セット、後のない日立であったが、PFUはアコスタにトスを集め、中盤で大量得点し、そのままセットを奪い勝利した。

試合番号 : 431	試合会場 : ベイコム総合体育館 (尼崎市記念公園総合体育館)	観客数 : 871	
開始時間 : 13:05	終了時間 : 14:37	試合時間 : 01:32	
主審 : 明井 寿枝	副審 : 山本 晋五		
JTマーヴェラス	通算 16勝 4敗 ポイント : 47	東レアローズ	通算 21勝 0敗 ポイント : 60
0	14 第1セット 25 20 第2セット 25 30 第3セット 32 第4セット 第5セット	3	監督コメント V・レギュラーラウンド最終戦、スタートからサーブで攻め、よい形でのディフェンスを機能させることが出来た。試合後半は相手の粘りに対して苦しい場面が続きましたが、オフェンス面でもリズムを作り得点を重ねることが出来ました。来週のファイナルラウンドへ向けしっかりと準備をしていきたいと思っております。本日もたくさんの方の応援をありがとうございます。
監督コメント	ホームでの2日目、対戦相手はV・レギュラーラウンドここまで全勝の東レ。攻撃力のあるオフェンスに対して1本目でサイドアウトされることが多く、なかなか反撃するチャンスが少なかった。来週からの大切な試合に向けて、心技体どれも最高のコンディションで準備してまいります。2日間ホームゲームの応援ありがとうございます。	要約レポート	首位を猛追するJTマーヴェラスが全勝の東レアローズをホームに迎えて、ファイナルラウンドの行方を占う重要な最終戦。第1セット、東レは石川のバックアタック、クランの高いブロックで得点を重ね、終始ゲームを優位に進める。対するJTはタッタオにボールを集めるが、東レが序盤の勢いそのまま先取する。第2セットJTは小幡の好レシーブを繋いで田中が決めムード良くリードする。東レは黒後が鋭いアタックを決め、野呂、クランの連続ブロック、途中出場した白井のサービスエースで大きく流れを変えセットを連取した。第3セット、巻き返しを図りたいJTは、長いラリーが続く好ゲームを展開し、田中や芥川の攻撃で必死に食い下がる。しかし、東レも所要所で小川のアタックや大野のブロックを決め、主導権を渡さない。最後はデュースにもつれ込みJT・タッタオ、東レ・クランの見応えある打ち合いとなったが、JTは一歩届かず東レが32-30の接戦を勝利し、全勝でV・レギュラーラウンドを終えた。

試合番号 : 432	試合会場 : ベイコム総合体育館 (尼崎市記念公園総合体育館)	観客数 : 702	
開始時間 : 15:30	終了時間 : 17:45	試合時間 : 02:15	
主審 : 林 淳一	副審 : 吉岡 奈々		
デンソーエアリービーズ	通算 12勝 7敗 ポイント : 36	久光スプリングス	通算 10勝 11敗 ポイント : 34
3	16 第1セット 25 25 第2セット 22 22 第3セット 25 26 第4セット 24 15 第5セット 9	2	監督コメント V・レギュラーラウンド最終戦を勝って、V・ファイナルステージに弾みをつけたかったが悔しい結果となった。相手のサーブに大事な局面で崩され、あと1点、あと1セットが遠く、ゲームをコントロールすることができなかった。しかし、途中出場の選手たちが素晴らしいバックアップをしてくれ、チームに活力を与えてくれた。課題を修正し、万全の体制で来週の試合を迎えたい。本日もたくさんのご声援ありがとうございます。
監督コメント	今日は昨日に引き続いて、V・ファイナルステージ進出を決める大事な試合でした。序盤は、相手のディフェンスに苦しみ、リズムを掴めませんでした。しかし、こちらの攻撃のテンポを変えたことで、上手く絡み合い始めました。サーブで攻めて、ブレイクに繋げられる場面を多く作ることができ、勝利とV・ファイナルラウンドへの切符を掴めました。対戦相手は、V・レギュラーラウンド全勝の相手ですが、万全の準備をして臨むことなく戦います。今日もたくさんのご声援に感謝いたします。ありがとうございます。	要約レポート	デンソーエアリービーズと久光製菓スプリングスの一戦。第1セット、久光は、石井と野本のスパイクが決まり得点を重ね、25-16で先取する。第2セット、デンソーはセッターを松井に代え終始リードする展開。森谷のサービスエースやブラマーのブロックも決まりデンソーがセットを奪い返す。第3セット、両チーム譲らず一進一退の攻防が続いたが、終盤に僅差で抜けた久光がセットを取り返す。第4セット、後のなく久光はデンソーはブラマーと鍋谷にボールを集め攻撃を展開する。最後はデンソーが横田のライト攻撃、鍋谷が強打を決め、最終セットまで持ち込む。第5セット、久光はアキラデフォ、デンソーはブラマーの見応えある打ち合いで試合が進む。デンソーは、鍋谷の速い攻撃で久光のブロックを翻弄、また好レシーブもみせる活躍で、このセットを15-9で取り、デンソーがV・ファイナルステージ(1~4位決定戦)進出を決めた。